

知事コメント

(大阪・関西万博の開会式について)

令和7年4月12日(土)

富山県知事 新田 八朗

本日、大阪・関西万博の開会式が、関係者のご努力により、盛大に開催されたことをとても嬉しく思います。開会式も国内外からの大勢のご出席者が見守る中、熱気や感動に溢れ、今後の万博の盛り上がりが大いに期待できるすばらしい式典でした。

明日から半年間にわたって開催される大阪・関西万博が、日本はもとより世界中を元気にワクワクさせてくれることを大いに期待しています。

富山県としても6月27日から29日の3日間、「寿司といえば、富山～ウェルビーイングな環境の体感～」をテーマに出展するなど万博と一緒に盛上げていくとともに、万博の元気を富山県に取り込めるよう取り組みます。

万博では様々な工夫を凝らしたパビリオンや体験型イベントも予定されています。私自身、小学生だった55年前の前回の大阪万博に参加しました。最新のテクノロジーを目の当たりにし、驚きと感動の連続でした。今から思えば、科学への興味やグローバルな視野を持つとともに、少し大げさかもしれませんが「我が国 日本」の大きな可能性を信じるきっかけになったと感じています。県民の皆様、特に子どもたちには、ぜひご参加いただければと思います。